

大分県教育委員会ヘルプデスク運營業務委託仕様書

1 業務委託名

大分県教育委員会ヘルプデスク運營業務委託

2 委託期間

令和8年6月1日から令和9年5月31日まで

3 業務実施場所

大分県庁舎別館8階 大分県教育委員会ヘルプデスク内及び大分県庁舎内の会議室

4 適用範囲

本仕様は、「大分県教育委員会ヘルプデスク運營業務委託」（以下「本業務」という。）に適用する。本仕様書に記載のない事項であっても、業務の委託者（以下「甲」という。）と受託者（以下「乙」という。）双方が協議して定めた業務はこれを遵守するとともに受託者はその使用人に周知徹底し、業務の遂行にあたらなければならない。

5 運営管理体制

- (1) 乙は、本業務に従事する者（以下「業務従事者」という。）5名以上（うち1名はシステムエンジニア）を任命し、4名以上を上記3の業務実施場所に常駐させるものとし、どの職員が常駐した場合も、7に示す業務内容等を円滑に対応できる体制を執ること。
※以下の期間は繁忙期対応として追加で1名を上記3の業務実施場所に常駐させるものとする。
 - ・毎年2月1日から5月31日
- (2) 乙は、上記(1)における業務従事者について、甲に様式1により通知するものとし、通知には経験等を証する書面を添付するものとする。
- (3) 乙は、上記(1)における業務従事者の中から運営責任者を1名選任し、甲に様式2により通知するものとする。
- (4) 本業務を遂行する乙の職員に必要な条件は次のとおりとする。
 - ア コミュニケーションスキルがあること。
 - イ マイクロソフト Office、DocuWorks等を十分に使えること。
 - ウ 個人情報の保護に関する法律について理解していること。
 - エ パソコンや周辺機器（プリンターやスキャナーなど）の使い方に習熟していること。
 - オ その他本業務を行うのに必要な技術及び知識を有すること。
- (5) システムエンジニアに必要な条件は次のとおりとする。
 - ア (4)に記載する条件に加えて、ネットワーク設計やサーバ運用の業務に3年以上従事した経験を有していること。
 - イ WindowsやLinux関係のWebシステム及びサーバの仕組みを理解していること。
 - ウ 大分県行政ネットワーク、大分教育ネットワーク及び大分県行政システム等の仕組みを理解していること。
 - エ ICTに関する知識が豊富であること。
 - オ パソコンのリカバリー等を経験したことがあり、データやファイルの管理について十分理解していること。
 - カ ネットワーク設計の経験やシステム開発の経験、システム運用、ホームページの運用、企業・団体内のパソコンやシステムの管理者などの経験があり、基本情報技術者試験の合格者レベルのスキルがあること。
- (6) 運営責任者に必要な条件は次のとおりとする。
 - ア 上記(4)に加えて、公官庁等における類似システムのヘルプデスク従事経験を3年以上有すること。
 - イ ICTに関する指導・助言及び研修を行った経験を3年以上有すること。

- ウ 業務従事者の育成・管理能力があること。
- (7) 運営責任者は業務従事者に対する指揮監督、勤怠管理、安全衛生管理等を行うこと。
また、ヘルプデスクの室内管理を実施すること。
- (8) 本業務実施にあたり甲と実施状況等の打合せを行うこと。また、甲と協議のうえ定例会を実施すること。

6 業務時間

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年の1月3日までの日を除く、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、午前8時から午前8時30分まで及び午後5時15分から午後5時45分までの間は1名の対応できるような勤務体制とすること。

ただし、甲が必要と判断した場合は、業務時間外の対応については双方で協議して行うものとする。

※定期人事異動時は、作業のため平日8:30~24:00(最大)まで2名の勤務、土日祝日は、業務の状況に応じて8:30~17:15まで1名以上の勤務が必要となる。

7 業務内容等

別紙「業務範囲及び業務内容等一覧」のとおり

※繁忙期対応で追加される1名は、別紙「業務範囲及び業務内容等一覧」内「2 業務内容」の(1)、(4)を実施するものとする

8 業務報告

乙は、1ヶ月分の業務報告書を翌月の第5開庁日までに甲に提出して確認を受けること。業務報告書の様式及び内容については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

9 再委託の取扱い

受託者が再委託をすることが必要な場合には、契約担当者の承認を必要とする事としているが、承認に当たっては以下の事項を踏まえ、適正な履行を確保すること。

(1) 一括再委託等の禁止

受託者が契約を履行するに当たって、委託業務の全部を一括して、又は契約担当者が仕様書等で明確にした主たる部分を第三者に委託することは禁止する。

(2) 再委託の範囲

再委託できない「主たる部分」の範囲及び、再委託できる範囲で再委託の承認を要しない「軽微な部分」の範囲は次のとおりとする。

①「主たる部分」:「総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等当該業務に係る基本的又は中心的なものに位置づけられる業務」

②「軽微な部分」:コピー、ワープロ、印刷、製本、資料整理、計算処理、消耗品購入等で受注者が軽微な業務を再委託するもの。

10 その他

- (1) 業務上必要なパソコン、複合機、電話機（外線可）などは甲が準備する。
- (2) 連絡体制が円滑に行えるよう、スマートフォンを1台設置すること。これに係る費用は乙が負担するものとする。
- (3) 業務の実施にあたって、データの漏えい、滅失、事故等の予防に十分留意し、業務の信頼性、安全性の確保を努めること。
- (4) 業務の実施にあたっては他の業務との協調に留意し、業務全体の円滑な推進を図ること。特に甲が契約している教育情報化ファシリテータ及び教育情報化コンシェルジュ、システム関係の保守業者、大分県総務部デジタル政策課、大分県ヘルプデスク、大分県行政文書管理システムの運用SE等と連絡を密にし、遺漏のないようにすること。
- (5) 業務従事者は、業務の実施に必要な技術水準を確保すること。
- (6) 委託期間終了後、翌月以降のヘルプデスク業務を円滑に運営するため、次の受託者へ

の引継ぎを契約期間内で行うこと。引継ぎ内容については、甲乙協議してこれを定めるものとする。

- (7) 本仕様書で定めた事項に関して疑義が生じたとき、または定めのない事項は、双方で協議して定めるものとする。

(様式1)

業務従事者通知書

業 務 名	大分県教育委員会ヘルプデスク運営業務
業務従事者氏名	
従 事 開 始 日	令和 年 月 日
<p>上記の者を業務従事者としたので通知します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>契約担当者 大分県知事 ●●●● 殿</p> <p>住 所 商号又は名称 代表者氏名 ⑩</p>	

※本業務を遂行する職員に必要な業務経験を証する資料を添付すること。

(様式2)

運営責任者選任通知書

業 務 名	大分県教育委員会ヘルプデスク運営業務
運営責任者氏名	
運営責任者選任日	令和 年 月 日

上記の者を運営責任者に選任したので通知します。

令和 年 月 日

契約担当者
大分県知事 ●●●● 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名 ⑩

(別紙)業務範囲及び業務内容等一覧

1 業務範囲

(1) 対象者

- ・大分県教育庁(大分県教育庁福利課に在籍する大分県市町村教員共済組合の雇用者を含める。)及び市町村教育委員会の職員
- ・県立学校及び市町村立学校の教職員

(2) 対象端末

- ア 大分県教育庁 420台程度(公立学校共済組合大分支部の端末を含める。)
- イ 県立学校 10,000台程度
 - ① 教職員用パソコン:教育行政4,200台程度
 - ② パソコン教室等用パソコン:5,000台程度
- ウ 市町村教育委員会及び市町村立学校(いずれも大分市を除く。) パソコン 23,500台程度

(3) ネットワーク

- ア 県立学校
 - ① 授業用ネットワーク(VLAN3)
 - ② 教育行政用ネットワーク(VLAN1-231)
 - ③ GIGA用ネットワーク(VLAN3-9)
 - ④ BYOD用ネットワーク(VLAN3-9)
- イ 市町村教育委員会及び市町村立学校
 - ① 市町村が利用するネットワーク(VLAN3-1、VLAN3、VLAN3-4)
 - ※市町村関係については、大分県教育庁が提供しているシステムに関するQ&Aの対応や市町村立学校教職員のパソコン及び大分教育ネットワークの障害のサポート業務を主とする。
 - ② GIGA用ネットワーク(VLAN3-9)
- ウ 公立学校共済組合大分支部(VLAN3-6)
- エ 大分県教育庁
 - ① 行政用ネットワーク(VLAN1)
 - ※VLAN1に関しては、大分県教育庁のOKパソコン及びネットワーク維持に係わる事項について、大分県総務部デジタル政策課と連携した業務を主とする。
 - ② 授業用ネットワーク(VLAN3)
 - ※大分県教育センターを対象とする。
 - ③ GIGA用ネットワーク(VLAN3-9)、BYOD用ネットワーク(VLAN3-9)
 - ※大分県教育センターを対象とする。
- オ 県立社会教育施設(大分県立図書館、九重青少年の家、香々地青少年の家、埋蔵文化財センター、歴史博物館)
 - ※ただし、各施設が立てる専任者からの問い合わせ対応を主とする。
 - ① 行政用ネットワーク(VLAN1)
 - ※VLAN1に関しては、大分県教育庁のOKパソコン及びネットワーク維持に係わる事項を総務部デジタル政策課と連携した業務を主とする。
 - ② GIGA用ネットワーク(VLAN3-9)、BYOD用ネットワーク(VLAN3-9)
 - ③ 来客者用ネットワーク
 - ※各施設からの要望に関しては、施設専任者と教育DX推進課で協議を行い、結果をヘルプデスクに指示する。

2 業務内容

(1) 基本ヘルプデスク業務

ア Q&A及びOA相談

上記1の(2)に記載する対象端末及び上記1の(3)を使用する利用者から、以下の使用方法等や相談に関する質問があった場合、迅速に利用者のサポートを行うこと。

〈ハードウェア〉

パソコン、プリンター、スキャナー、外部記憶装置(ハードディスク、USBメモリ等)、プロジェクター、その他甲が指定する機器

〈ソフトウェア〉

OS (Windows、Mac、Android、iPad)、MS Office (Excel、Word、PowerPoint に限る)、ブラウザ (Edge、Chrome、Firefox)、DocuWorks (富士フィルム)、教育行政用パソコン用ウイルス対策システム、授業用パソコン用ウイルス対策システム、いきなりPDF、StudyAid (数研出版)、授業支援ソフト (NetWitch、WinBird、V-Class)、LoGo チャット (トラストバンク)、その他甲が指定するソフトウェア (フリーウェアを除く)

〈システム〉

大分県行政文書管理システム、e-オフィスシステム、ストレス診断システム、県立学校校務システム (Arms 等)、人事管理システム、給与管理システム、クラウド/SNS システム (OEN システム (Google Workspace) 等)、不正接続防止システム、総務事務システム、電子入札システム、財務総合システム、仮想化システム (Revo ブラウザ)、教職員研修システム (Plant)、その他甲が指定するシステム

※県立学校校務システム (Arms 等)、人事管理、給与管理、ストレス診断システムについては、原則エスカレーションにより対応

※総務事務システム、電子入札システム、財務総合システムについては、パソコンの設定のみ対応。操作方法等については原則エスカレーションにより対応。

※大分県教育センター・教職員研修システム (Plant) については、以下の対応を実施。

・問い合わせはログイン操作を含むシステムの操作方法のみ対応を行い、研修内容や登録内容についての問い合わせは大分県教育センターへのエスカレーションを行う。

イ パソコンの障害切分け及び障害対応

電話やリモート操作により障害対応を実施して、ハードウェアの修理やイメージ復元が必要な場合は、必要な作業内容をパソコン保守業者等に指示すること。

機種により、ハードウェアやシステム不具合時にイメージ復元及び初期化設定を行うこと。

※市町村関係のハードウェアの修理及びイメージ復元は含まない。

※大分県教育庁本庁各課の場合は、現地対応する。

ウ ネットワークの障害切分け及び対応

県立学校、県立社会教育施設の基幹系SW等の下位部分 (所属に設定しているHUBなど) の障害対応を実施すること。

※県立学校、県立社会教育施設、市町村関係の基幹部に係る対応は、総務部デジタル政策課との協議を含む。

※障害対応については、リモート及び電話対応で行うものとする。

(2) 各種システム運用管理

ア 資産管理システム (ハンモック AssetView)、不正アクセス管理システム (L2Blocker)

※下記のうち①～⑤は AssetView にて管理、③、⑥は L2Blocker にて管理

① 使用ユーザ調査及びユーザ台帳の作成・管理

② 端末管理番号及び IP アドレスの採番

③ ネットワークへの長期未接続端末の定期調査

※定期調査は1年に1回以上実施、利用していない状況が確認されれば各所属に連絡をして状況を把握すること、また把握した内容については甲に報告すること。

④ USB機器の制御管理

⑤ 資産管理サーバの運用管理補助

甲の指示により、サーバの「アカウント及びグループ」の登録、削除、ポリシー等の設定、システムのバージョンアップ等の補助

⑥ 不正接続サーバの運用管理補助

甲の指示により、不正接続サーバへの端末機器の登録、削除、使用許可、使用禁止、ポリシー等の設定等の補助

イ 統合ファイルサーバシステム(NetApp を基本としたファイルサーバシステム)

① 利用方法等についてのQ & A対応

② 所属・特殊・個人ディレクトリの作成等

ウ ウィルス対策システム(Kaspersky Next EDR)

① ウィルスに関する対応

(ア) メール受信するウィルスアラートに迅速に対応すること。

(イ) ウィルス感染時は、迅速に駆除を行うこと。

(ウ) 利用者への連絡、状況の確認及び2次感染を予防すること。

(エ) ヘルプデスクで対応困難な場合は、上位のサポート部隊へ連絡すること。

② ウィルス対策ソフトの死活監視(※1年に1回以上)

長期間、ウィルス対策ソフトが稼働していない端末の定期チェック及び正常稼働への対応

③ ウィルス対策ソフト管理サーバの運用管理補助(VLAN1-231,VLAN3,VLAN3-1)

エ WSUSシステム(VLAN1-231 用、VLAN3-1 用、VLAN3 用、VLAN3-4 用)

① 端末の設定及び動作確認

② セキュリティパッチの配布プランニング作成

③ セキュリティパッチの配布及び適用、不具合時の対応

④ WSUS サーバのシステム管理

⑤ WSUS サーバの運用手順書作成

⑥ 手動によるパッチ適用作業

オ 認証関係システム

① 認証サーバーのシステム稼働状況を疎通確認等により確認する。

② システムにトラブルが発生していると疑われる場合は、教育DX推進課へ報告を行う。

③ ネットワークトラブルが発生している場合は、大分教育ネットワークに障害が発生していないか速やかに調査し、教育DX推進課へ報告を行う。

④ 端末登録が必要な場合は、認証サーバ(NetAttest EPS)を利用し端末登録を行うこと。認証情報に関するデータの提供があった場合は、速やかに登録・反映作業を行うこと。

⑤ ユーザー登録が必要な場合は、認証サーバ(SmartOn)にユーザー登録を行うこと。認証情報に関するデータの提供を受けた場合は、速やかに登録・反映作業を行うこと。

⑥ 端末の紛失の可能性がある場合、ネットワーク管理システムを利用して対応を行うこと。

カ 大分教育ネットワークシステム

対象機器及びシステムは、別紙「対象機器・システム一覧」のとおり

- ① システム登録、設定支援
- ② 障害時の一時窓口及びシステム保守業者との連絡や打合わせ
- ③ 次期の大分教育ネットワーク機器及びシステムの導入支援、運用形態の検討及びユーザ運用マニュアル作成支援等を行うこと。

※大分教育ネットワークシステムについては、別途契約している運用保守業者と連携して業務を実施すること。

キ 教育クラウドシステム(OEN システム)

① 運用管理

- (ア) 県－市－学校の校務用ネットワーク上で情報共有が円滑に行えるように努めること。
- (イ) ユーザ登録及びアカウント登録(正規、臨時のEメールアドレス含む。)を行うこと。
※ユーザ登録には、ユーザの削除及び一時停止を含む。
- (ウ) 県立学校の Google ドライブに 1 年分の学校行事が書き込める朝礼ファイルを設定すること。
ファイルの追加・削除やそれに関連するユーザの指定がある場合は、それぞれのファイルのアクセスを制御すること。
- (エ) 大分県公立学校総合情報ポータルサイトの運用支援(ヘルプデスクサポートページ含む)を行うこと。
- (オ) 一般的なQ&A対応及びパスワードの初期化等の対応を行うこと。
- (カ) Google Workspace に関する技術的な問題及び障害時の対応を迅速に行うこと。
- (キ) グーグル社の都合で、Google Workspace の仕様やサービスの利用形態が大幅に変更になった場合はグーグル社への問合せ等を行うこと。
- (ク) システム内で情報漏えい等のセキュリティ事案が発生した場合には、迅速にログ分析を行い、グーグル社等に依頼を行う等、最大限に対処すること。
- (ケ) 障害発生時(ウィルス感染、不正アクセス等を含む。)は、ログの分析や原因特定のための問題切り分け及び対応を実施すること。

② 保守管理

- (ア) アクセスログやアクセス回数の管理等を行い、安定稼働に努めること。
- (イ) 障害が発生した場合は、必要に応じてグーグル社の情報提供を受けて、迅速な障害復旧に努めること。
- (ウ) 人事異動時にはツール等を利用してユーザの管理(削除・登録・権限設定等)を速やかに行うこと。
- (エ) 既存のユーザ台帳を整理して、効率的に活用できるシステム等を構築するとともに、業務上の問題点の解決や要求の実現を行うこと。

③ 維持管理

- (ア) 教育庁・学校で利用している OEN システムサイトや大分県公立学校総合情報ポータルサイトのメンテナンスを行うこと。

ク 教職員研修システム(Plant)

システムのユーザーデータは OEN 登録データを基本とするため、OEN 登録データが必要な際

は、教育DX推進課と協議した後、Plant の管理サーバに登録を行うこと。

ケ 県立学校のGIGA端末(BYOD を含む)

- ① 認証サーバーのシステム稼働状況を疎通確認等により確認する。
- ② システムにトラブルが発生していると疑われる場合は、教育DX推進課へ報告を行う。
- ③ ネットワークトラブルが発生している場合は、大分教育ネットワークに障害が発生していないか速やかに調査し、教育DX推進課へ報告を行う。
- ④ ユーザー登録が必要な場合は、認証サーバにユーザー登録を行うこと。
- ⑤ 端末の紛失の可能性がある場合、ネットワーク管理システムを利用して対応を行うこと。

(3) ネットワーク機器運用保守

(VLAN1-231、VLAN3-1、VLAN3、VLAN3-3、VLAN3-4、VLAN3-5、VLAN3-6、VLAN3-9、BYOD)

ア ネットワーク機器の監視、障害切分け及び障害復旧

※ネットワーク機器とは、県立学校の場合は、メディアコンバータ、L3 機器、L2 機器及び県内の「豊の国ハイパーネットワーク」の AP に設置しているメディアコンバータのことである。また、市町村側の場合、大分教育ネットワークの L3 機器、FW の事である。市町村側でネットワーク障害が発生した場合、市町村のネットワーク担当者及び関連会社と協力し障害の復旧を支援すること。

※障害内容は、主に基幹スイッチの故障やループ障害(ブロードキャストストーム)、パソコン教室などからインターネットが利用できない等である。

※当該業務には、ネットワーク機器故障によるハードウェア調達及び修理費用は含まない。

イ 県立学校、県立社会教育施設に設置している基幹 SW のネットワーク設定変更作業(VLAN 等の新規追加、変更など)

ウ 機器故障及び更新の場合、代替機(更新機器)へのネットワーク設定(VLAN、リモート操作等のコンフィグレーション設定作業)

エ ネットワーク監視ソフトウェア(Inter Mapper/UNIFAS Managed Server)の運用管理

オ 新規導入ネットワーク機器の設定及び校内 LAN の配線に関する技術的な助言

カ 機器認証サーバ(iBaqS,GoRAD)の運用管理

キ ユーザ認証サーバ(Go-net)の運用管理

※設定変更等については、教育DX推進課の指示を実施すること。

ネットワーク機器用保守に関して甲が乙に開示する資料

- ・物理配線図(機器配置、LAN 配線図)
 - ※設置場所、設置機器、階層構造と配線がわかるもの
 - ※基幹スイッチの設置している状況が確認できる写真も添付すること
- ・ネットワーク図
 - ※論理的なネットワーク構成図
- ・基幹スイッチのデザインシート
- ・基幹スイッチのコンフィグレーション
- ・VLAN ID 管理表
- ・基幹スイッチリモートメンテナンス手順書
- ・基幹スイッチコンフィグレーション設定変更(VLAN 設定変更等)手順書

(4) 人事異動時の対応

- ア 人事異動に伴う端末及びユーザ情報の収集・調査
- イ 人事異動に伴う端末管理台帳及びユーザ台帳のメンテナンス
- ウ 人事異動に伴うパソコン引上げによるイメージ復元及び初期設定
※イメージ復元作業台数、約 120 台
- エ 人事異動に伴う各種システムのメンテナンス
- オ 人事異動に伴うネットワークメンテナンス
- カ 人事異動処理を行う事前準備及び関係所属との調整、情報収集

(5) その他

- ア 甲の指示により職員がパソコンを利用する上で必要となる手順書を作成すること。
(※手順書例:バックアップ手順書)
- イ 甲が提供するソフトウェア等を利用してデータ復元をすること。
※復元レベルは、甲が提供するソフトウェアで対応が可能な範囲まで
- ウ 甲が所有する貸出用情報機器の貸出管理及び貸出機器のメンテナンス、利用方法の指導、ブ
レゼン時の初期設定等の補助を行うこと。
- エ 大分県総務部デジタル政策課が大分県教育庁に配備しているパソコンで不具合等が起こった
場合、大分県教育委員会ヘルプデスクが支援すること。
- オ 大分県文書管理システム操作研修を行うこと。実施にあたっては、事前に教育改革・企画課文
書担当職員と協議すること。
 - (ア) 実施時期 4月～8月
 - (イ) 実施場所 大分県庁舎新館13階OAプラザ ※実施場所は状況により別途協議する場
合あり
 - (ウ) 研修概要 ※1回あたり3時間程度
 - ・新任所属長 1回～2回程度 延べ10名程度
 - ・新採用職員等 2回～3回程度 延べ30名程度
 - ・一般教員等 2回～3回程度 延べ30名程度
- カ パソコン教室内の授業用パソコンのリプレイス作業補助(600台程度)

対象機器及びシステム一覧

1.対象サーバ及び稼働システム

項	サーバ名	台数	稼働システム	備考
1	外部 DNS/MAIL	2	BIND POSTFIX/APACHE/VSFTPD PHP/MYSQL 他	MAIL については、内部 MAIL サーバへ転送 サブドメイン有り
2	内部 MAIL サーバ	2	POSTFIX/DOVECOT	IaaS VLAN3-1 用内部メールサーバ
3	内部 DNS/NTP サーバ	2	BIND Chrony	IaaS VLAN3,VLAN3-1 より利用可能 負荷分散構成で使用
4	VLAN3 用 PROXY サーバ	2	i-filter	物理サーバ VLAN3 専用 PROXY サーバ 負荷分散構成で使用
5	VLAN3-4 用 PROXY サーバ	2	i-filter	物理サーバ 3-4 専用 PROXY サーバ 負荷分散構成で使用
6	VLAN3-1 用 PROXY サーバ	2	Squid	IaaS VLAN3-1 回専用 PROXY サーバ 負荷分散構成で使用
7	WSUS	8	MICROSOFT WINDOWS SERVER UPDATE SERVICES	物理サーバ VLAN1-231、VLAN3-4、 VLAN3,VLAN3-1 用 WSUS
8	コンテンツサーバ	1	APACHE PHP/MySQL 他 NetCommons(CMS)	IaaS 汎用 DB 利用予定 コンテンツ数 約 40,000 点
9	NAS	1	Windows Server IoT 2019 for Storage	各種バックアップ用
10	ログサーバ	1	FortiAnalyzer-VM	ログ収集用

2.対象ネットワーク機器

項	ネットワーク機器名	台数	稼働システム	備考
1	Cisco Catalyst9300	2	レイヤ 3 ルーティング機能等	スタック構成による冗長化
2	Fortigate-600E	4	FW 機能 アンチウイルス機能 アンチスパム機能 侵入検知/防御機能 負荷分散機能 VPN 機能 等	HA 構成による冗長化 大分教育ネットワーク用 2 台 GIGA 用ネットワーク用 2 台
3	Cisco C9200	2	PfR 機能による ISP 回線負荷分散	ネットワーク負荷分散装置
4	Fortigate-100F	2	県立学校用FW	HA 構成による冗長化 ※デジタル政策課運用のため、障害切り分けや補助を 対応

5	クラウド UTM	2	ブレイクアウト回線用 FW (県立学校14校)	スループット選択型(最大 5Gbps)のクラウド型 UTM ※スループットの状況確認や 600E にあわせた設定変更 の実施等
---	----------	---	----------------------------	---